

史跡 昼飯大塚古墳

古代大垣・青野ヶ原 王が見た古代の風景

The Historic Site Hirui-Otsuka Burial Mound

ひる い お お つ か こ ふ ん れ き し こ う え ん

昼飯大塚古墳歴史公園

Hirui-Otsuka Tumulus Historical Park

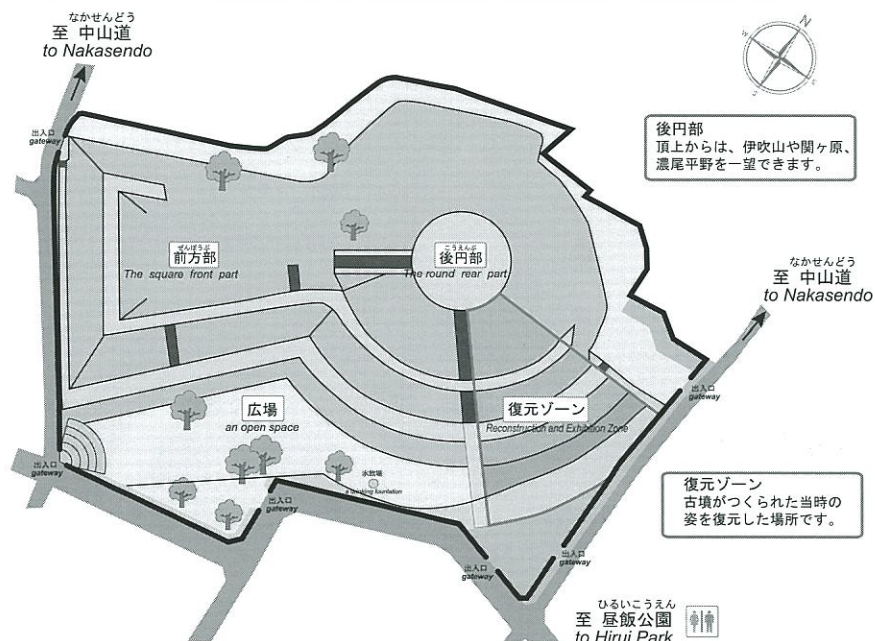
2013 年 4 月 6 日 (土) 午後 1 時～ 完成記念式典

問い合わせ先: 大垣市教育委員会文化振興課 岐阜県大垣市丸の内 2 丁目 55 番地 電話 (0584) 81-4111



ひるい おおつか こふん れき し こう えん 昼飯大塚古墳歴史公園

Hirui-Otsuka Tumulus Historical Park



史跡 昼飯大塚古墳について

古墳の築造年代：4世紀末（古墳時代中期）

古墳の規模：墳丘長約 150m、後円部径 99m、高さ 13m、
前方部高 9.5m、周壕含む総全長約 180m

出土遺物

（墳丘）：円筒埴輪、形象埴輪（家・蓋・盾・鞍・甲冑形）、勾玉・ガラスなどの玉類、土器・土製品など

（埋葬施設）①竪穴式石室（北棺）：過去に盗掘を受ける。未調査。

②粘土槨（南棺）：未調査。

③木棺直葬（西棺）：棺外から鉄剣・鉄刀、鉄製の工具などが出土。棺内は未調査。

史跡の指定：平成 12（2000）年9月6日 面積：12,641.71 m²

（大垣市教育委員会編『史跡 昼飯大塚古墳II』2009 年による）

古墳の特徴

昼飯大塚古墳は今から約 1600 年前に築かれた岐阜県最大の前方後円墳です。

その特徴は墳丘の長さが 150m にもなることやその構造が三段築成となる点、さらには後円部の頂上に竪穴式石室、粘土槨、木棺直葬という三つの埋葬形態が存在する点にあります。

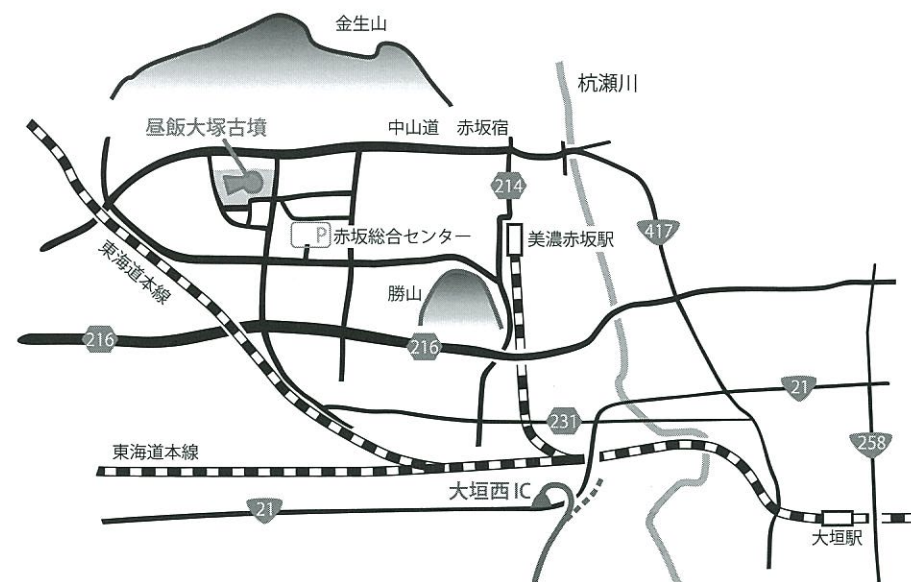
保存整備では墳丘を修復しながら、後円部の一部に復元ゾーンを設けて葺石や埴輪、周壕を復元しています。



昼飯大塚古墳 IT 型ガイダンスシステム

AR ジオビューワースystem

墳丘上に設置した AR マーカーに、パソコンを向けることによりジオビューワースystem が作動し、視覚的に古墳の仮想表示や説明を音声で聞くことができます。



アクセス

鉄道：JR 美濃赤坂駅から徒歩 25 分

バス：JR 大垣駅南口 1 番のりば名阪近鉄バス「赤坂総合センター行」終点下車、徒歩 3 分

自動車：名神高速道路大垣インターチェンジから 25 分

東海環状自動車道大垣西インターチェンジから 8 分

問い合わせ先 大垣市教育委員会文化振興課

〒503-0888 岐阜県大垣市丸の内2丁目55番地 電話(0584)81-4111

ホームページ <http://www.city.ogaki.lg.jp/>